

# 2018年3月期決算の概要と 2019年3月期見通しについて

2018年5月10日  
東レ株式会社

# 目次

---

## I. 2018年3月期決算の概要

2018年3月期連結決算概要	(P3)
売上高・営業利益の推移	(P4)
総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE	(P5)
営業外収支	(P6)
特別損益	(P7)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P8)
営業利益増減要因分析	(P9)
セグメント別売上高・営業利益	(P10)
セグメント別業績	(P11-17)
主要子会社・地域の収益状況	(P18)
従業員数、関係会社の異動	(P19)

## II. 2019年3月期連結業績見通し

2019年3月期連結業績見通し	(P21)
セグメント別業績見通し	(P22)
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移	(P23)

## III. 中期経営課題“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

“プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況	(P25-30)
<参考>セグメント別業績推移(Q別)	(P32-33)

# I . 2018年3月期決算の概要

# 2018年3月期連結決算概要

億円

	17年3月期			18年3月期			増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	9,570	10,695	20,265	10,482	11,566	22,049	+1,784 (+8.8%)
売上原価	7,437	8,527	15,965	8,251	9,229	17,480	+1,515 (+9.5%)
売上総利益	2,133	2,167	4,300	2,231	2,337	4,568	+268 (+6.2%)
(売上高総利益率)	22.3%	20.3%	21.2%	21.3%	20.2%	20.7%	-0.5 ポイント
販売費及び一般管理費	1,370	1,461	2,831	1,451	1,553	3,004	+173 (+6.1%)
(売上高販管費比率)	14.3%	13.7%	14.0%	13.8%	13.4%	13.6%	-0.3 ポイント
営業利益	763	706	1,469	781	784	1,565	+96 (+6.5%)
(売上高営業利益率)	8.0%	6.6%	7.2%	7.4%	6.8%	7.1%	-0.2 ポイント
営業外収支	▲ 2	▲ 30	▲ 32	▲ 13	▲ 29	▲ 42	-10
経常利益	761	677	1,437	768	755	1,523	+86 (+6.0%)
特別損益	▲ 13	▲ 35	▲ 47	▲ 40	▲ 117	▲ 157	-110
税前利益	748	642	1,390	728	638	1,366	-24 (-1.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益	534	460	994	475	484	959	-35 (-3.5%)
1株当たり当期純利益	33.40円	28.77円	62.17円	29.71円	30.25円	59.97円	
1株当たり配当金	7円	7円	14円	7円	8円	15円	

為替レート

(17/3) → (18/3)

<円/US\$>

期中平均 : 108.4 → 110.9

期末 : 112.2 → 106.2

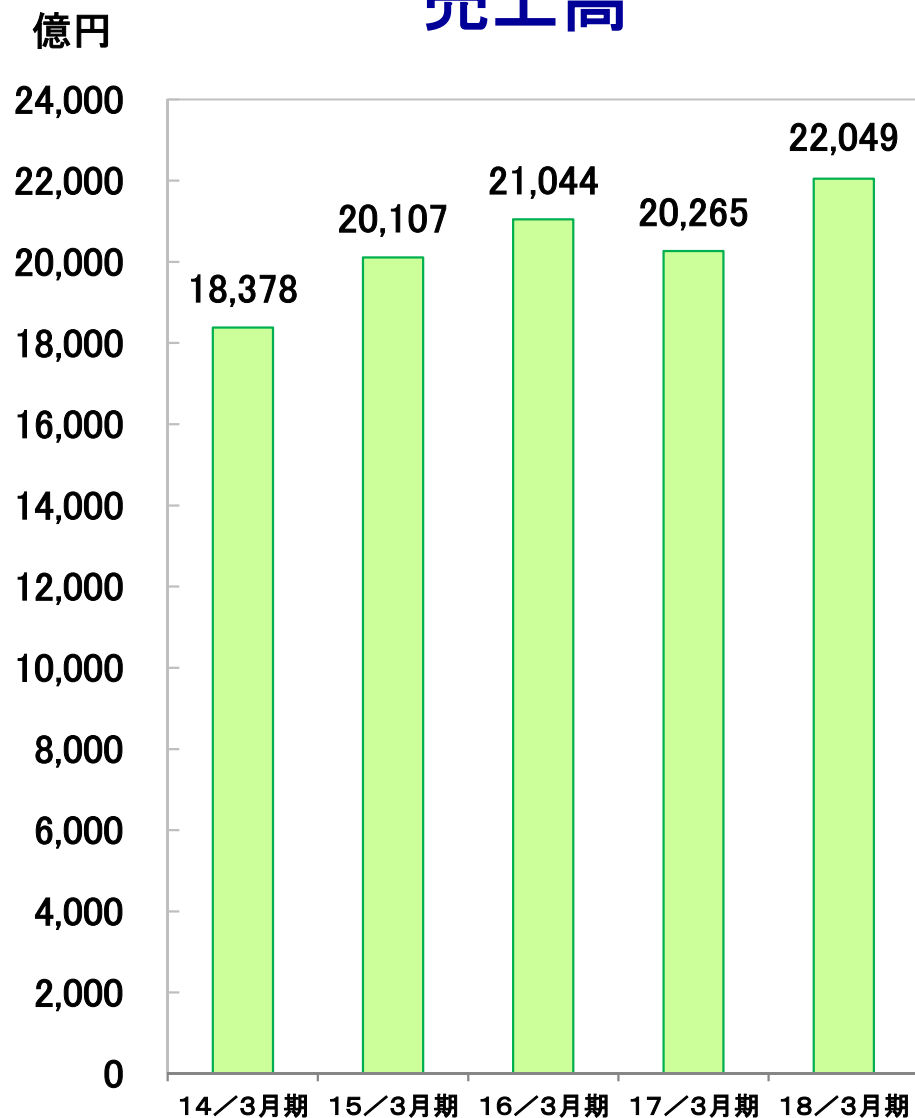
<円/ユーロ>

期中平均 : 118.8 → 129.7

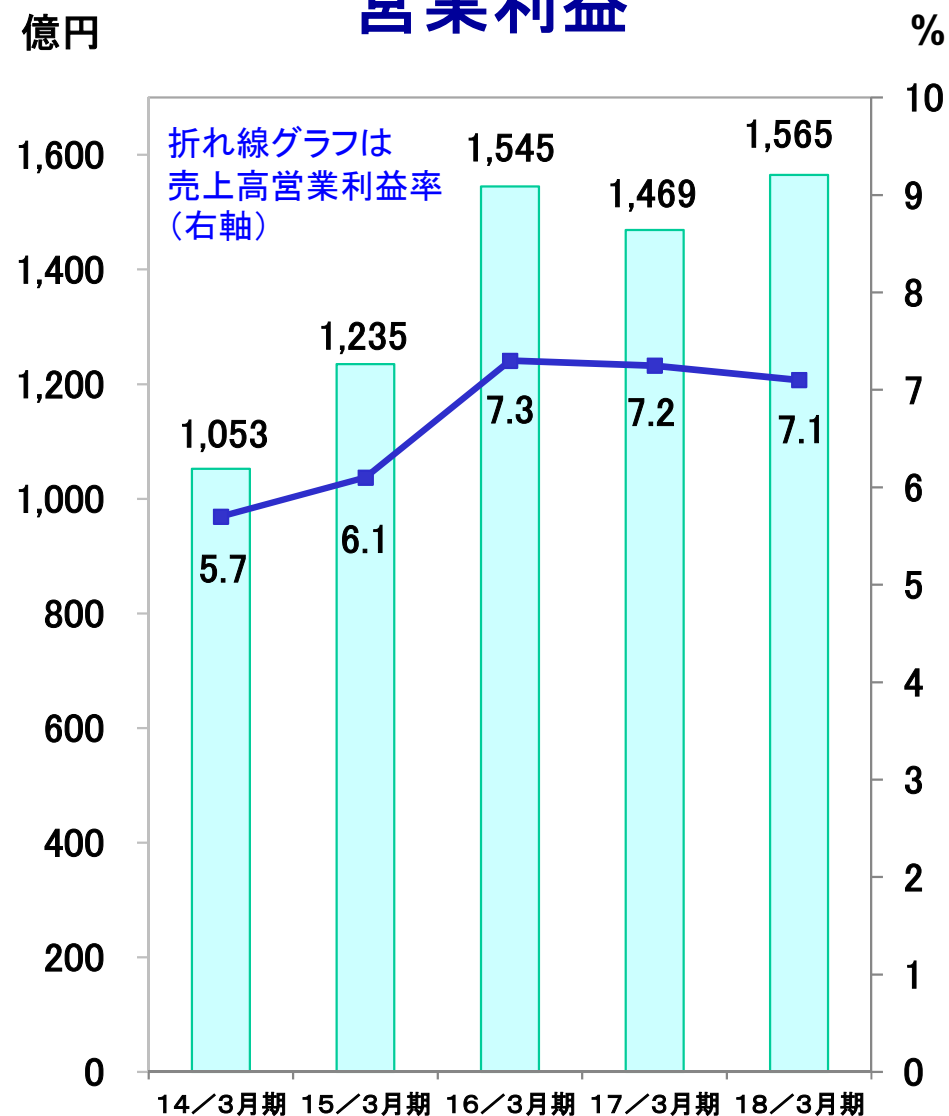
期末 : 119.8 → 130.5

# 売上高・営業利益の推移

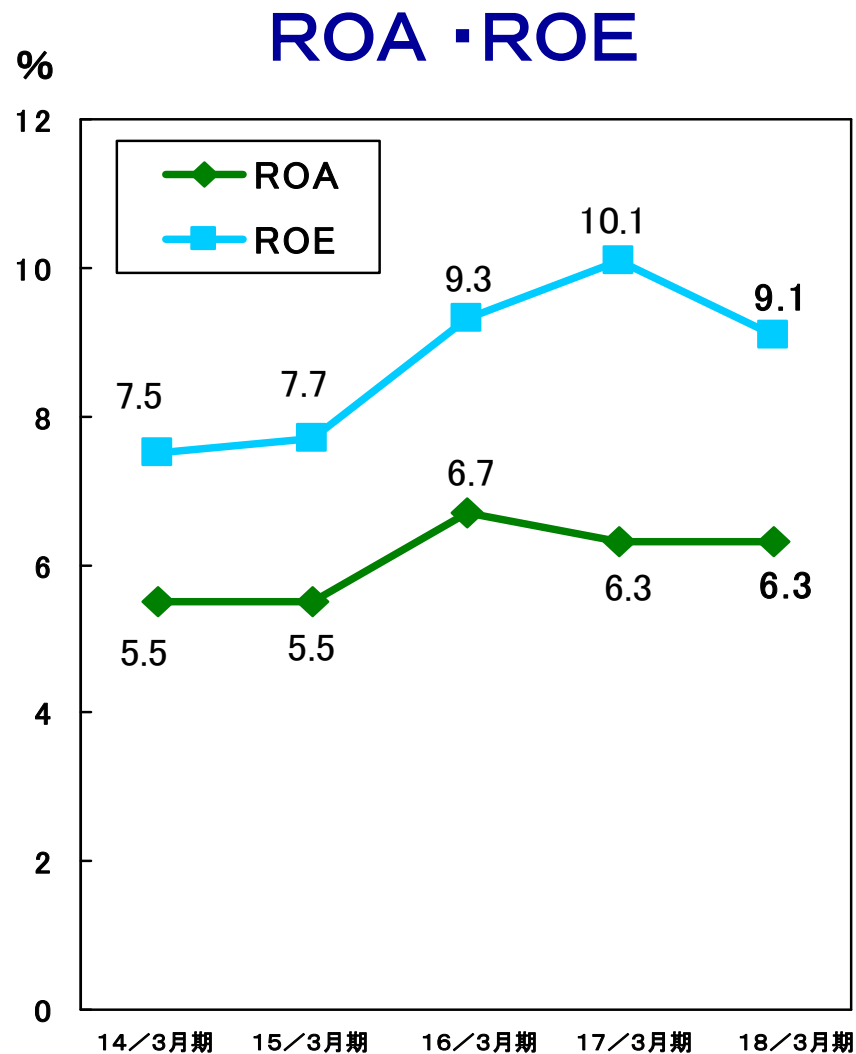
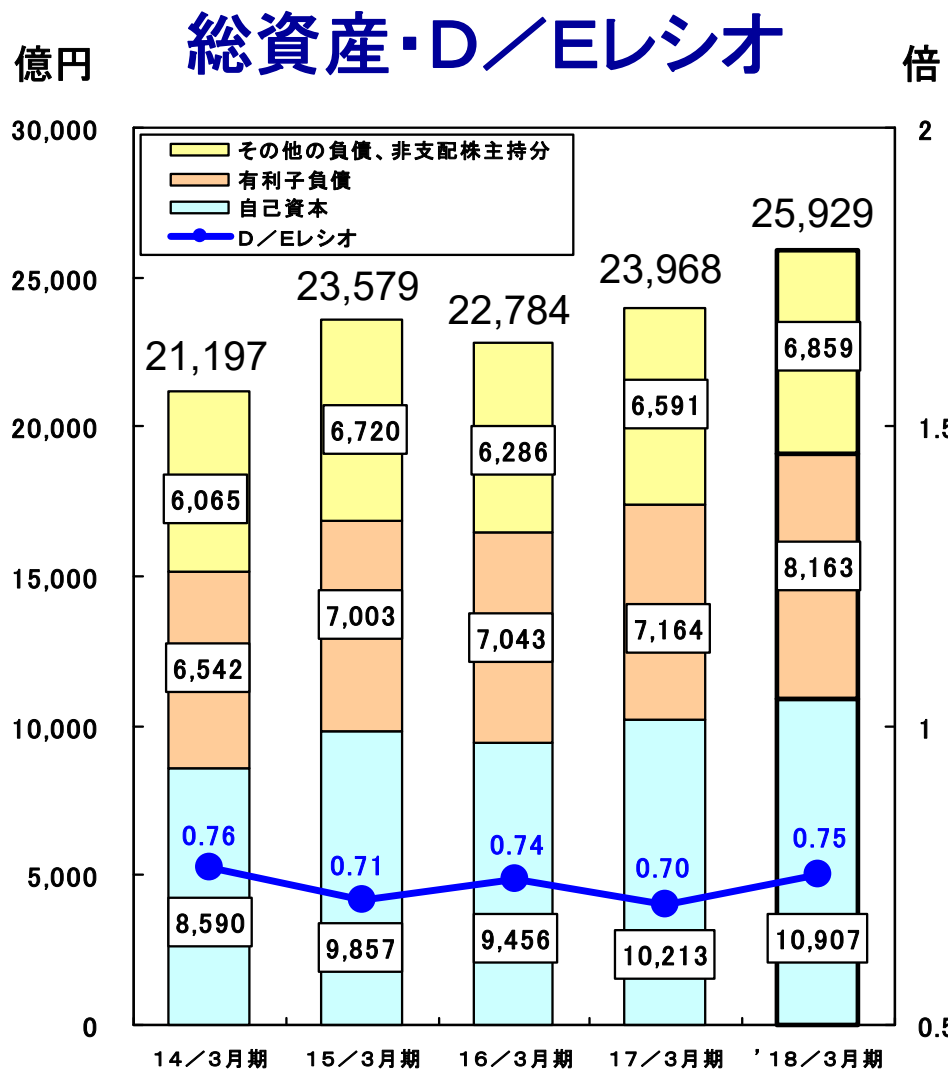
## 売上高



## 営業利益



# 総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE



ROA = 営業利益 / 総資産

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

# 営業外収支

	17年3月期	18年3月期	増減
営業外収益	181	191	+9
受取利息及び配当金	50	52	+2
持分法による投資利益	75	92	+17
雑収入	56	46	-10
営業外費用	▲ 213	▲ 232	-19
支払利息	▲ 47	▲ 51	-4
新規設備操業開始費用	▲ 30	▲ 68	-39
休止設備関連費用	▲ 61	▲ 48	+13
雑損失	▲ 75	▲ 65	+11
営業外収支	▲ 32	▲ 42	-10
金融収支	4	1	-2

億円

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 特別損益

	17年3月期	18年3月期	増減
特別利益	60	45	-14
有形固定資産売却益	10	9	-1
投資有価証券売却益	38	35	-2
退職給付信託返還益	8	-	-8
その他	3	1	-3
特別損失	▲ 107	▲ 202	-96
有形固定資産処分損	▲ 60	▲ 80	-20
減損損失	▲ 29	▲ 39	-10
投資有価証券評価損	▲ 8	▲ 1	+7
関係会社事業損失	-	▲ 36	-36
環境対策費	-	▲ 26	-26
その他	▲ 9	▲ 20	-11
ネット特別損益	▲ 47	▲ 157	-110

億円

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示



# 資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

	17年3月末	18年3月末	増減
資産合計	23,968	25,929	+1,961
流動資産	10,667	11,527	+860
有形固定資産	8,814	9,270	+456
無形固定資産	773	686	-86
投資その他	3,713	4,446	+732

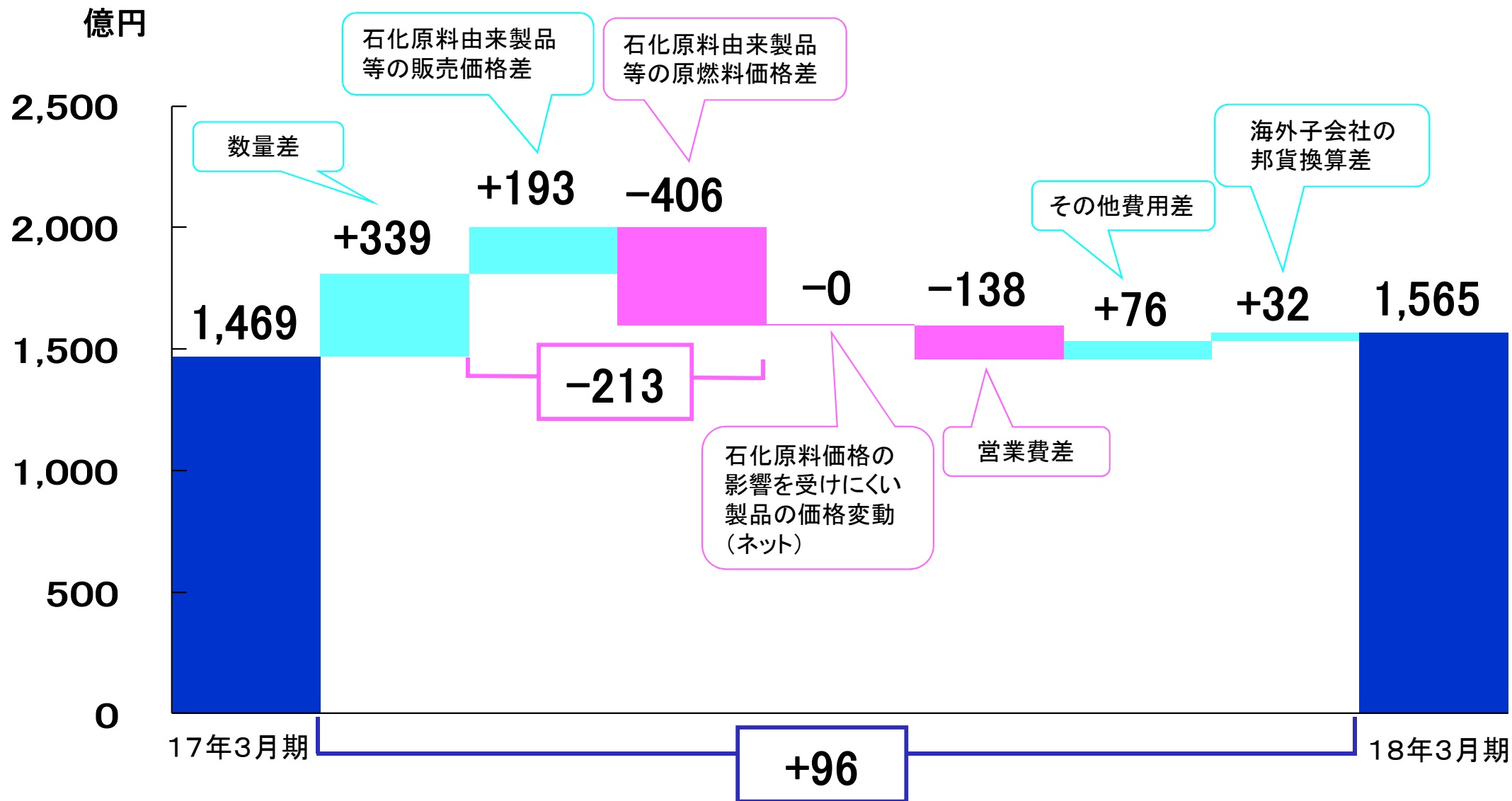
億円

	17年3月末	18年3月末	増減
負債合計	12,966	14,237	+1,271
流動負債	6,700	6,765	+66
固定負債	6,266	7,472	+1,206
純資産合計	11,002	11,692	+690
自己資本	10,213	10,907	+694
自己資本比率	42.6%	42.1%	-0.5 ポイント

## <フリー・キャッシュ・フローの状況>

	17年3月期	18年3月期	増減
営業活動	1,740	1,292	-448
投資活動	▲1,352	▲1,867	-514
フリー・キャッシュ・フロー	387	▲575	-962

# 営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

# セグメント別売上高・営業利益

		売上高				営業利益			
		17年 3月期	18年 3月期	増減	(%)	17年 3月期	18年 3月期	増減	(%)
繊維	上期	4,002	<b>4,228</b>	+226	(+5.7%)	346	<b>355</b>	+9	(+2.7%)
	下期	4,560	<b>4,908</b>	+349	(+7.6%)	322	<b>369</b>	+47	(+14.7%)
	通期	8,561	<b>9,136</b>	+575	(+6.7%)	668	<b>724</b>	+57	(+8.5%)
機能化成品	上期	3,462	<b>3,907</b>	+445	(+12.8%)	296	<b>357</b>	+61	(+20.6%)
	下期	3,784	<b>4,126</b>	+342	(+9.0%)	322	<b>357</b>	+35	(+10.8%)
	通期	7,246	<b>8,033</b>	+787	(+10.9%)	618	<b>714</b>	+96	(+15.5%)
炭素繊維複合材料	上期	806	<b>848</b>	+43	(+5.3%)	160	<b>105</b>	-56	(-34.8%)
	下期	811	<b>931</b>	+121	(+14.9%)	79	<b>103</b>	+24	(+30.2%)
	通期	1,616	<b>1,779</b>	+163	(+10.1%)	240	<b>208</b>	-32	(-13.3%)
環境・エンジニアリング	上期	964	<b>1,152</b>	+188	(+19.5%)	53	<b>68</b>	+16	(+29.9%)
	下期	1,161	<b>1,230</b>	+69	(+5.9%)	65	<b>65</b>	+0	(+0.1%)
	通期	2,125	<b>2,383</b>	+257	(+12.1%)	117	<b>133</b>	+16	(+13.5%)
ライフサイエンス	上期	252	<b>262</b>	+10	(+3.9%)	7	<b>14</b>	+7	(+88.9%)
	下期	289	<b>276</b>	-13	(-4.6%)	14	<b>6</b>	-9	(-60.6%)
	通期	542	<b>538</b>	-3	(-0.6%)	21	<b>19</b>	-2	(-9.6%)
その他	上期	84	<b>85</b>	+1	(+1.0%)	5	<b>9</b>	+4	(+71.0%)
	下期	90	<b>94</b>	+5	(+5.0%)	21	<b>20</b>	-1	(-4.0%)
	通期	174	<b>179</b>	+5	(+3.1%)	26	<b>29</b>	+3	(+10.4%)
調整額	上期					▲ 105	▲ 127	-22	
	下期					▲ 117	▲ 135	-19	
	通期					▲ 221	▲ 262	-41	
連結	上期	9,570	<b>10,482</b>	+912	(+9.5%)	763	<b>781</b>	+18	(+2.3%)
	下期	10,695	<b>11,566</b>	+872	(+8.1%)	706	<b>784</b>	+78	(+11.0%)
	通期	20,265	<b>22,049</b>	+1,784	(+8.8%)	1,469	<b>1,565</b>	+96	(+6.5%)

億円

# セグメント別業績(繊維)

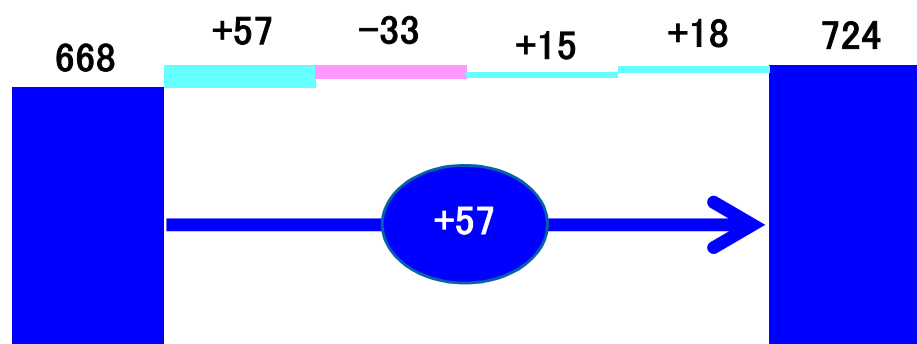
## 売上高・営業利益

億円

		17年3月期	18年3月期	増減	
売上高	東レ	1,835	1,970	+135	(+7.3%)
	国内	4,458	4,560	+102	(+2.3%)
	海外	5,048	5,687	+638	(+12.6%)
	修正	▲ 2,780	▲ 3,080	-301	
	計	8,561	9,136	+575	(+6.7%)
営業利益	東レ	196	198	+1	(+0.6%)
	国内	118	126	+8	(+7.1%)
	海外	375	436	+61	(+16.2%)
	修正	▲ 22	▲ 36	-14	
	計	668	724	+57	(+8.5%)

## 営業利益増減

億円



17年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 18年3月期  
の邦貨換算差

## 概況

### 国内

- ・自動車関連など産業用途の一部で需要が堅調に推移。
- ・衣料用途は店頭販売の動きなどが徐々に改善。
- ・衣料用・産業用それぞれの用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの拡大を進めるとともに、事業体質強化に注力。

### 海外

- ・東南アジアや韓国などの一部子会社の業績が低調。
- ・自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。
- ・衣料用途でも一貫型ビジネスの拡大を推進。

## トピックス

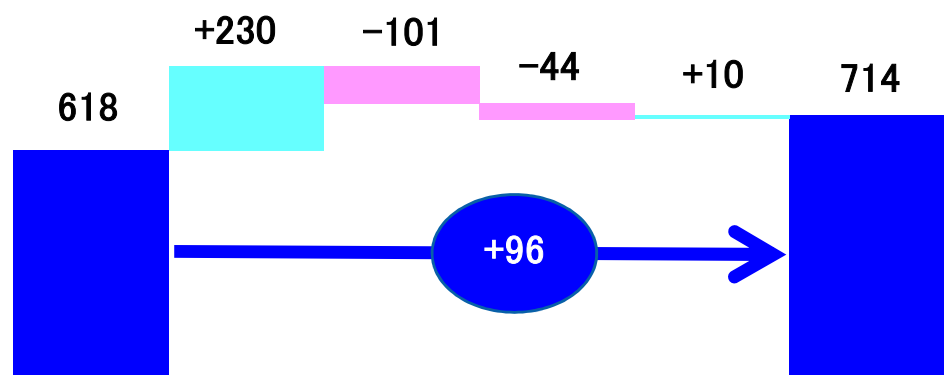
- ・17年6月：香港Pacific Textiles Holdings Ltd.への資本参加を決定。
- ・17年11月：中国・広東省佛山市に高機能ポリプロピレン長繊維不織布(PPスパンボンド)生産設備新設を決定。
- ・18年1月：スエード調人工皮革 ウルtrasエード®の生産設備増強を決定。
- ・18年2月：インドに新規事業用地を取得、衛生材料用PPスパンボンド生産設備新設を決定。

# セグメント別業績(機能化成品)

## 売上高・営業利益 億円

		17年3月期	18年3月期	増減	
売上高	東レ	2,133	2,501	+368	(+17.2%)
	国内	4,433	4,562	+129	(+2.9%)
	海外	4,370	5,325	+954	(+21.8%)
	修正	▲ 3,690	▲ 4,355	-665	
	計	7,246	8,033	+787	(+10.9%)
営業利益	東レ	173	219	+47	(+27.0%)
	国内	164	139	-24	(-14.9%)
	海外	314	385	+72	(+22.9%)
	修正	▲ 32	▲ 30	+1	
	計	618	714	+96	(+15.5%)

## 営業利益増減 億円



17年3月期 数量差 価格差 費用差 他 海外子会社の邦貨換算差 18年3月期

## 概況

### 樹脂事業

- ・自動車関連用途向けの出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。
- ・自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。

### フィルム事業

- ・リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大。
- ・スマートフォン向けなどの電子部品用途が好調に推移。

### 電子情報材料事業

- ・有機ELパネルの需要拡大に伴い関連材料の出荷が拡大。

## トピックス

- ・17年8月: ハンガリーでPPS樹脂コンパウンド生産設備新設を決定。
- ・17年9月: 出光興産(株)と有機EL材料に関する技術提携を進めることに合意。
- ・17年10月: 韓国でバッテリーセパレータフィルム“セティーラ<sup>®</sup>”生産設備増強を決定。

# 機能化成品のサブセグメント別売上高

億円

	17年3月期		18年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	3,092	28%	3,607	29%	+17%
フィルム	2,932	27%	3,308	27%	+13%
電子情報材料	595	5%	640	5%	+8%
商事	4,317	39%	4,832	39%	+12%
修正	▲ 3,690	-	▲ 4,355	-	-
合計	7,246		8,033		

# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

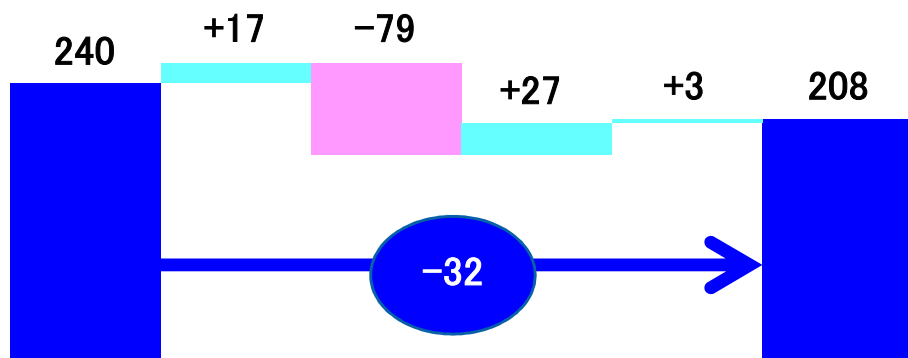
## 売上高・営業利益

億円

		17年3月期	18年3月期	増減	
売上高	東レ	966	934	-31	(-3.3%)
	国内	630	666	+36	(+5.7%)
	海外	1,396	1,463	+68	(+4.8%)
	修正	▲ 1,375	▲ 1,283	+91	
	計	1,616	1,779	+163	(+10.1%)
営業利益	東レ	125	97	-29	(-22.8%)
	国内	12	15	+3	(+27.1%)
	海外	156	119	-37	(-23.6%)
	修正	▲ 54	▲ 23	+30	
	計	240	208	-32	(-13.3%)

## 営業利益増減

億円



17年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 18年3月期  
他 の邦貨換算差

## 概況

### 航空宇宙用途

- ・航空機の最終需要が堅調に推移。
- ・サプライチェーンでの在庫調整が完了し、出荷は回復基調。

### 一般産業用途

- ・圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連向けを中心に、全体として需要が回復傾向。
- ・原料価格の上昇や競合激化の影響を受けた。

## トピックス

- ・17年6月: イタリアAVIO SpA社と新型打上げロケット用途向け炭素繊維に関する長期供給契約を締結。
- ・17年11月: メキシコでレギュラートウ炭素繊維新品种の生産設備新設を決定。
- ・18年3月: ①フランスSafran社と次世代航空機エンジン用途向け炭素繊維複合材料に関する供給契約を締結。  
②オランダ炭素繊維複合材料メーカーTenCate Advanced Composites Holding B.V. 社の全株式取得につき合意。

# 炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上高

億円

	17年3月期		18年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	748	46%	821	46%	+10%
スポーツ	133	8%	156	9%	+17%
一般産業	735	45%	802	45%	+9%
合計	1,616		1,779		+10%



# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

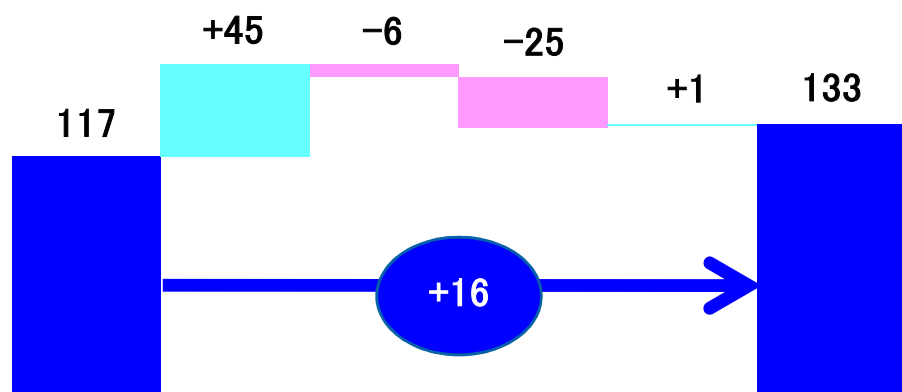
## 売上高・営業利益

億円

		17年3月期	18年3月期	増減	
売上高	東レ	225	232	+7	(+3.2%)
	国内	2,593	2,849	+256	(+9.9%)
	海外	264	309	+45	(+17.2%)
	修正	▲ 956	▲ 1,008	-52	
	計	2,125	2,383	+257	(+12.1%)
営業利益	東レ	11	4	-7	(-60.6%)
	国内	84	98	+14	(+16.6%)
	海外	26	30	+4	(+17.2%)
	修正	▲ 4	0	+4	
	計	117	133	+16	(+13.5%)

## 営業利益増減

億円



17年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社の邦貨換算差 18年3月期

## 概況

### 水処理事業

- ・国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。

### 国内子会社

- ・エンジニアリング子会社で産業機器やエレクトロニクス関連装置が好調に推移。

## トピックス

- ・17年6月: 「高機能性逆浸透膜の開発」について、一般社団法人日本化学工業協会より「第49回(平成29年度)日化協技術賞総合賞」を受賞。
- ・18年3月: 米国サンディエゴ市の米国西海岸最大級下水飲料水化大規模施設への中空糸限外ろ過(UF)膜の受注決定。

# セグメント別業績(ライフサイエンス)

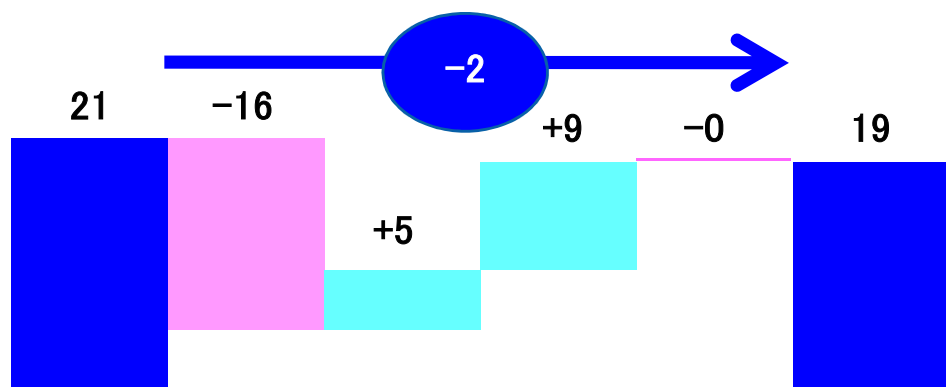
## 売上高・営業利益

億円

		17年3月期	18年3月期	増減	
売上高	東レ	312	280	-32	(-10.2%)
	国内	413	405	-8	(-1.9%)
	海外	122	118	-4	(-3.1%)
	修正	▲ 305	▲ 266	+40	
	計	542	538	-3	(-0.6%)
営業利益	東レ	16	▲ 5	-21	(-)
	国内	5	13	+7	(+140.5%)
	海外	▲ 1	▲ 1	-1	(-)
	修正	1	13	+12	
	計	21	19	-2	(-9.6%)

## 営業利益増減

億円



17年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 18年3月期  
他 の邦貨換算差

## 概況

### 医薬事業

- ・経口そう痒症改善薬レミッチ<sup>®</sup>\* が、剤形追加や効能追加の効果から出荷を拡大。
- ・天然型インターフェロンベータ製剤フェロン<sup>®</sup>や経口プロスタサイクリン誘導体製剤ドルナー<sup>®</sup>の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調。
- ・一部ライセンス収入が減少。

### 医療機器事業

- ・ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

## トピックス

- ・17年5月: 経口そう痒症改善薬レミッチ<sup>®</sup>\*OD錠の国内における薬価収載及び6月からの販売開始決定。
- ・17年9月: 「レミッチ<sup>®</sup>\*カプセル2.5μg」および「レミッチ<sup>®</sup>\*OD錠2.5μg」の国内における効能追加承認取得。
- ・18年1月: そう痒症改善薬「TRK-820」につきHong Kong Sansheng Medical Limited とライセンス契約を締結。

\* レミッチ<sup>®</sup>は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

# 主要子会社・地域の収益状況

億円

		売上高			営業利益		
		17年3月期	18年3月期	増減	17年3月期	18年3月期	増減
東レインターナショナル		5,654	5,877	+222	106	123	+17
東レエンジニアリング		1,025	1,054	+29	47	58	+11
東レ建設		453	547	+94	11	15	+5
東レフィルム加工		416	419	+2	22	31	+9
在東南アジア・子会社	繊維	1,167	1,351	+184	66	91	+25
	機能化成品	850	1,100	+251	80	121	+41
	その他	-	2	+2	-	0	+0
	計	2,017	2,452	+436	146	212	+66
在中国・子会社	繊維	2,450	2,735	+286	209	235	+27
	機能化成品	874	1,016	+142	46	32	-14
	その他	254	302	+48	6	9	+2
	計	3,578	4,054	+476	261	276	+15
在韩国・子会社	繊維	902	995	+94	37	31	-6
	機能化成品	1,015	1,403	+387	114	174	+60
	その他	159	184	+26	22	21	-1
	計	2,076	2,582	+506	173	226	+52

# 従業員数、関係会社の異動

従業員数		人	
	17年3月末	18年3月末	増減
東レ単体	7,220	7,625	+405
国内連結子会社	10,657	10,590	-67
海外連結子会社	28,371	27,547	-824
合計	46,248	45,762	-486

関係会社の異動		社		
		17年3月末	18年3月末	増減
連結子会社 (a)	国内	60	61	+1
	海外	98	101	+3
	計	158	162	+4
持分法適用子会社 (b)	国内	26	26	±0
	海外	35	34	-1
	計	61	60	-1
子会社計 (a) + (b)	国内	86	87	+1
	海外	133	135	+2
	計	219	222	+3
持分法適用関連会社 (c)	国内	13	13	±0
	海外	23	22	-1
	計	36	35	-1
連結対象会社 合計 (a) + (b) + (c)	国内	99	100	+1
	海外	156	157	+1
	計	255	257	+2

## Ⅱ. 2019年3月期連結業績見通し

# 2019年3月期連結業績見通し

		18年3月期 実績	19年3月期 見通し	増減	
売上高	上期	10,482	11,500	+1,018	(+9.7%)
	下期	11,566	12,500	+934	(+8.1%)
	<b>通期</b>	<b>22,049</b>	<b>24,000</b>	<b>+1,951</b>	<b>(+8.9%)</b>
営業利益	上期	781	790	+9	(+1.2%)
	下期	784	860	+76	(+9.7%)
	<b>通期</b>	<b>1,565</b>	<b>1,650</b>	<b>+85</b>	<b>(+5.5%)</b>
経常利益	上期	768	770	+2	(+0.3%)
	下期	755	830	+75	(+9.9%)
	<b>通期</b>	<b>1,523</b>	<b>1,600</b>	<b>+77</b>	<b>(+5.1%)</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	475	480	+5	(+1.0%)
	下期	484	500	+16	(+3.3%)
	<b>通期</b>	<b>959</b>	<b>980</b>	<b>+21</b>	<b>(+2.2%)</b>
1株当たり 当期純利益	上期	29.71円	30.01円		
	下期	30.25円	31.26円		
	<b>通期</b>	<b>59.97円</b>	<b>61.27円</b>		
1株当たり 配当金	上期	7円	8円		
	下期	8円	8円		
	<b>通期</b>	<b>15円</b>	<b>16円</b>		

億円

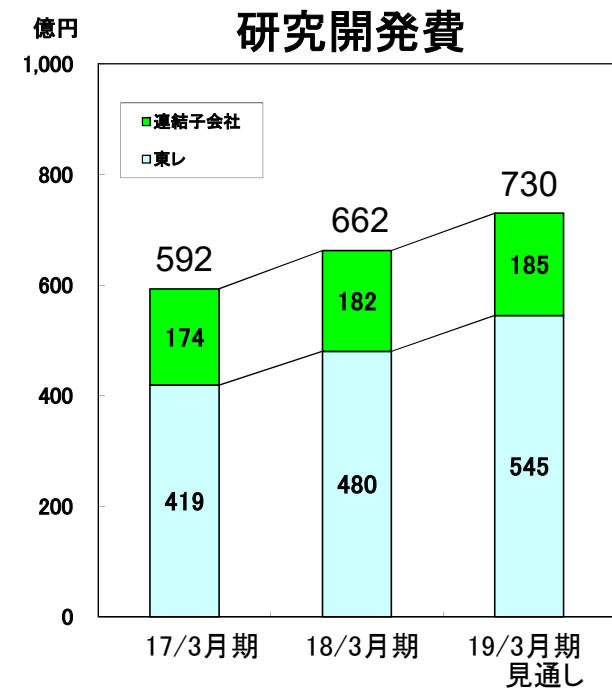
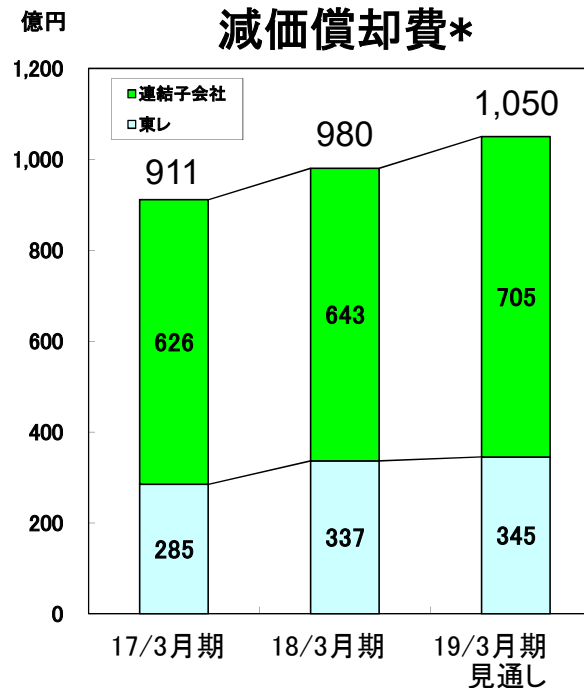
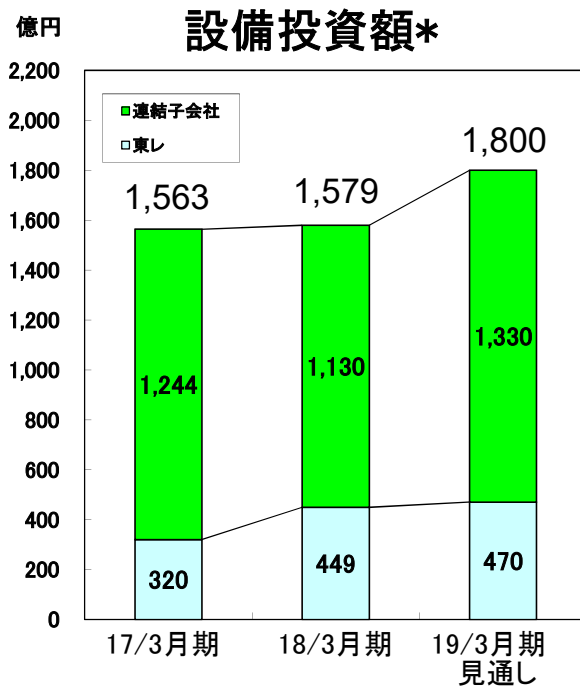
為替レート的前提：110円/US\$

# セグメント別業績見通し (売上高／営業利益)

億円

		18年3月期 実績			19年3月期 見通し			増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,228	4,908	9,136	4,550	5,100	9,650	+322	+192	+514
	機能化成品	3,907	4,126	8,033	4,350	4,450	8,800	+443	+324	+767
	炭素繊維複合材料	848	931	1,779	1,000	1,200	2,200	+152	+269	+421
	環境・エンジニアリング	1,152	1,230	2,383	1,200	1,350	2,550	+48	+120	+167
	ライフサイエンス	262	276	538	300	300	600	+38	+24	+62
	その他	85	94	179	100	100	200	+15	+6	+21
	連結	10,482	11,566	22,049	11,500	12,500	24,000	+1,018	+934	+1,951
営業利益	繊維	355	369	724	380	410	790	+25	+41	+66
	機能化成品	357	357	714	380	410	790	+23	+53	+76
	炭素繊維複合材料	105	103	208	85	85	170	-20	-18	-38
	環境・エンジニアリング	68	65	133	70	90	160	+2	+25	+27
	ライフサイエンス	14	6	19	5	5	10	-9	-1	-9
	その他	9	20	29	15	25	40	+6	+5	+11
	調整額	▲ 127	▲ 135	▲ 262	▲ 145	▲ 165	▲ 310	-18	-30	-48
連結	781	784	1,565	790	860	1,650	+9	+76	+85	

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



\*有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)の合計

## 主な設備投資案件

【2018年3月期】	投資先	設備内容
	Toray Advanced Materials Korea Inc.	高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備
	Zoltek Companies, Inc.	ラージトウ“ZOLTEK™”炭素繊維設備
	Toray Battery Separator Film Korea Limited	バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”設備
	Toray Composite Materials America, Inc.	炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備

【2019年3月期】	投資先	設備内容
	Toray Battery Separator Film Korea Limited	バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”設備
	Alcantara S.p.A.	“Alcantara®”設備
	Zoltek Companies, Inc.	ラージトウ“ZOLTEK™”炭素繊維設備
	Toray Polytech (Foshan) Co., Ltd.	高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備



## Ⅲ. “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

# “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

## 3つの基本戦略

### 1. 成長分野での事業拡大

グリーンイノベーション事業拡大  
(GR)プロジェクト

ライフイノベーション事業拡大  
(LI)プロジェクト

### 2. グローバルな事業の拡大・高度化

成長国・地域での収益機会を取り込むことで、グローバルに事業を拡大


### 3. 競争力強化

トータルコストダウン

事業体質強化

営業力強化

トータルコスト競争力  
強化(TC)プロジェクト

 :グループ横断プロジェクト

# “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

## グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト

### 2017年度の主な取り組み

#### <GHG排出削減>

##### ■仏Safran社と次世代航空機エンジン用途向け炭素繊維複合材料の供給契約締結(18年3月)

- ・エンジンメーカーとの直接的な協業を深化させ、炭素繊維複合材料の採用拡大を図る。

##### ■TenGate Advanced Composites Holding B.V.株式取得に関する合意書締結(18年3月)

- ・同社の強みである熱可塑CFRP(炭素繊維複合材料)技術とのシナジー効果により事業拡大を図る。

#### <バッテリーセパレータフィルム(BSF)事業の拡大>

##### ■韓国の生産設備増強決定(17年10月)

- ・東レバッテリーセパレータフィルム韓国において、50%の能力増強決定。19年度上期稼働開始予定。

#### <水処理>

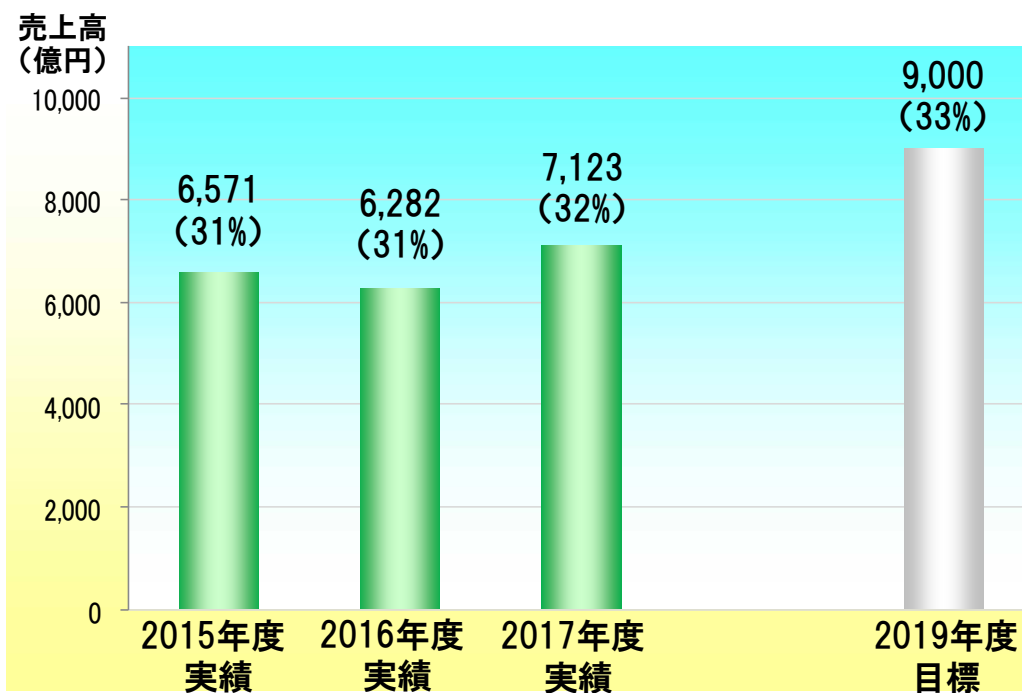
##### ■UF膜の米国西海岸最大級飲料水化大規模設備への受注決定(18年3月)

- ・米国最大規模下水飲料水化施設向けに、UF膜を受注、21年設備稼働開始予定。



### グリーンイノベーション事業の売上高推移

( )内は、全社売上高に占める割合



# “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

## ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト

### 2017年度の主な取り組み

#### <先端材料のLI展開>

■リミテッドユース防護服「LIVMOA<sup>®</sup>」高通気タイプの一般小売向け販売開始決定(17年5月)

・リミテッドユース(使い切り型)防護服LIVMOA<sup>®</sup>を17年6月より事業者向け通販サイトで取り扱い開始。

■中国の華南地区にPPスパンボンド生産設備新設を決定(17年11月)

・年産20千トンの生産設備を新設、19年度中稼働開始予定。

#### <医薬・医療機器>

■経口そう痒症改善薬レミッチ<sup>®</sup>口腔内崩壊錠販売開始決定(17年5月)及び国内における効能追加承認取得(17年9月)

・水なしでも服用可能な口腔内崩壊錠の販売を17年6月から開始。

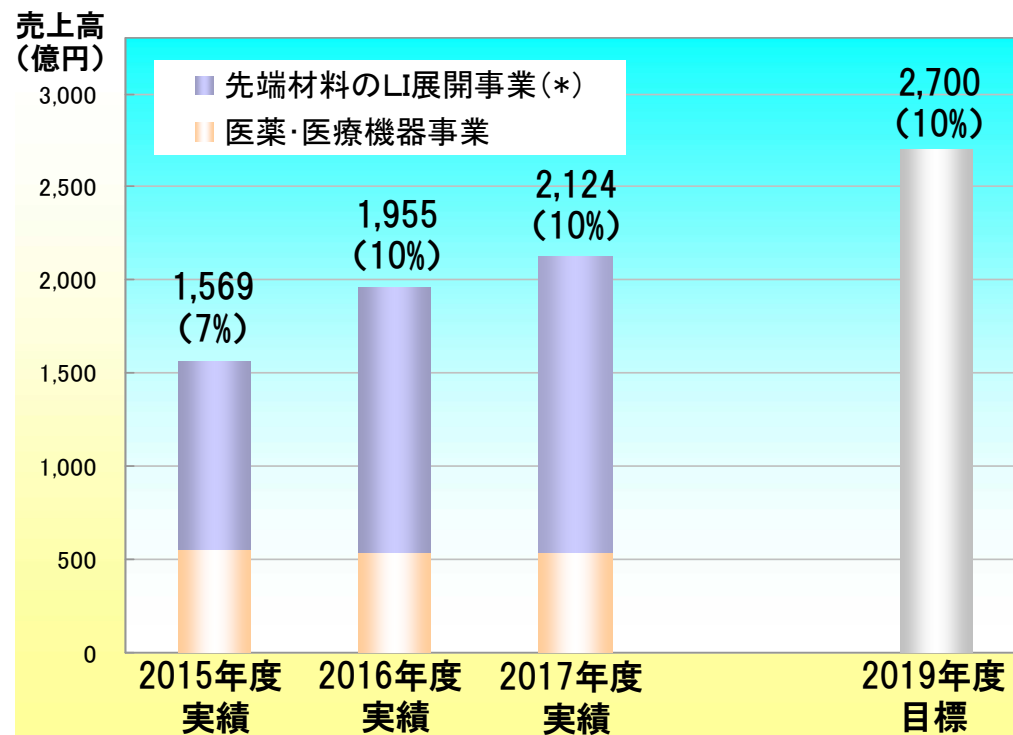
・腹膜透析患者におけるそう痒症の改善に関する適応症が効能として追加。

■がん治療薬「TRK-950」の米国における第I相臨床試験を推進

・今後もグローバルな臨床開発を推進し、早期承認取得を目指す。

## ライフイノベーション事業の売上高推移

( )内は、全社売上高に占める割合



(\*)東レグループ概算

# “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

## グローバルな事業の拡大・高度化

### 2017年度の主な取り組み

■香港大手ニットテキスタイル企業 *Pacific Textiles Holdings Ltd.* への資本参加を決定(17年6月)

・約590億円で28%の株式を取得し、持分法適用会社に。

■ハンガリーにおけるPPS樹脂コンパウンド生産設備の新設決定(17年8月)

・Zoltekのハンガリー工場内に年産3千トンの生産設備を新設、18年3月稼働開始。

■ドイツにオートモーティブセンター欧州(AMCEU)の開設を決定(17年10月)

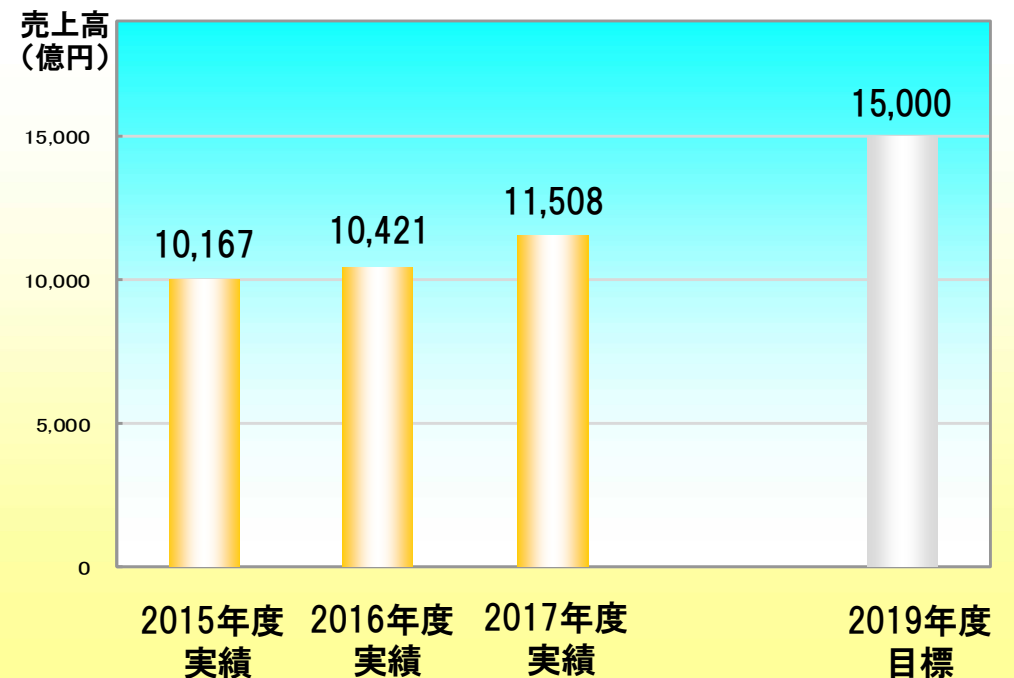
・欧州環境車向け新素材のR&D機能を強化すべく、18年8月開設予定。

■インドにおける新規事業用地取得(18年2月)

・本事業用地を活用する事業の第一弾として、衛生材料用PPスパンボンド生産設備新設を決定、20年度稼働開始予定(年産18千トン)。

## グローバルな事業の拡大・高度化 ＜海外売上高推移(海外連結子会社の売上高単純合計)＞

\*過去分も100円/ドル前提に換算



# “プロジェクト AP-G 2019”の進捗状況

## 競争力強化

### トータルコストダウン

- 東レグループ横断のトータルコスト競争力強化(TC)プロジェクトを推進し、3年間で合計2,200億円のコスト削減を目指す
- 比例費削減活動(毎年3.6%以上を目標)
- P値管理による固定費管理の徹底(毎年P値(\*)0.96以下)
- 生産プロセス革新では、「革新的コストダウン」「大型トータルコストダウン」「既設増能力」の 카테고리毎のテーマを掘り起こし、3年間で500億円以上の効果を目指とする

### 2017年度実績

- 比例費: 280億円削減  
(削減率3.2%)
- 固定費: 250億円削減  
(P値=0.99)
- 生産プロセス革新: 163億円削減

**693億円の削減**

### 事業体質強化

- 収益性に問題のある会社・事業の課題を明確化し、収益改善に向け総力結集  
→市場の成長性や競合状況によっては、撤退・縮小も選択肢とする
- 資産を効率的に活用し、収益を拡大

- 繊維: 中国ポリエステル・綿混織物事業会社の株式譲渡及び経営移管
- フィルム: 岐阜工場で既存の設備を改造し、MLCC(積層セラミックコンデンサー)離型用フィルムの生産開始を決定

### 営業力強化

- 営業は、生産・技術・研究や社外パートナーと連携して、「儲ける仕組み」作りを主導
- 既存事業は、価格政策、商流、ブランド施策の改善により収益を最大化

- 出光興産(株)と有機EL材料に関する技術提携に合意
- (株)ユニクロとニューヨークで合同展示会を初開催

\* : P(Performance)値 = 固定費増加率 / 限界利益増加率 1.0以下もしくは予算との対比で事業毎に管理

# 業績指標

億円

	2017年度 実績	2018年度 見通し	2019年度 目標
売上高	22,049	24,000	27,000
営業利益	1,565	1,650	2,500
営業利益率	7.1%	6.9%	9%
ROA	6.3%	約6%	約9%
ROE	9.1%	約9%	約12%

“AP-G 2019”為替レート前提: 100円/US\$

ROA = 営業利益 / 総資産

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

■ 配当方針: 業績に連動した継続的な配当増

■ D/Eレシオ・ガイドライン: 1以下



## ＜参考＞セグメント別業績推移（Q別）



# セグメント別売上高推移(Q別)

億円

	17年3月期					18年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
繊維	1,977	2,025	2,458	2,101	8,561	2,011	2,217	2,748	2,160	9,136
機能化成品	1,748	1,715	1,815	1,969	7,246	1,912	1,995	2,090	2,036	8,033
炭素繊維複合材料	438	368	378	432	1,616	427	421	434	497	1,779
環境・エンジニアリング	462	502	531	631	2,125	569	584	557	674	2,383
ライフサイエンス	119	134	129	160	542	122	140	136	140	538
その他	38	46	40	50	174	40	45	42	53	179
連結	4,781	4,789	5,352	5,343	20,265	5,081	5,401	6,006	5,560	22,049

# セグメント別営業利益推移(Q別)

億円

	17年3月期					18年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
繊維	178	168	195	127	668	176	179	230	139	724
機能化成品	155	141	168	154	618	166	190	200	156	714
炭素繊維複合材料	98	63	46	34	240	57	48	46	57	208
環境・エンジニアリング	25	28	22	42	117	43	25	25	39	133
ライフサイエンス	2	5	▲ 3	17	21	8	5	6	▲ 0	19
その他	▲ 0	6	7	15	26	2	6	8	12	29
調整額	▲ 47	▲ 58	▲ 56	▲ 60	▲ 221	▲ 64	▲ 63	▲ 63	▲ 72	▲ 262
連結	410	353	379	327	1,469	389	392	453	331	1,565

---

本資料中の2019年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

**'TORAY'**

**Innovation by Chemistry**